

令和2年度 【淡路市】認知症地域支援推進員活動報告

【淡路市】の認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員： 2名

2 認知症地域支援推進員の役割

◎医療・介護等の支援ネットワーク構築

- ・ケアネットの普及
- ・認知症の方が認知症の状態に応じて必要な医療や介護等のサービスを受けられるよう関係機関との連絡体制の構築

◎認知症対応力向上のための支援

- ・病院施設等における処遇困難事例の検討及び個別支援
- ・チームオレンジ・認知症カフェ・家族会の支援

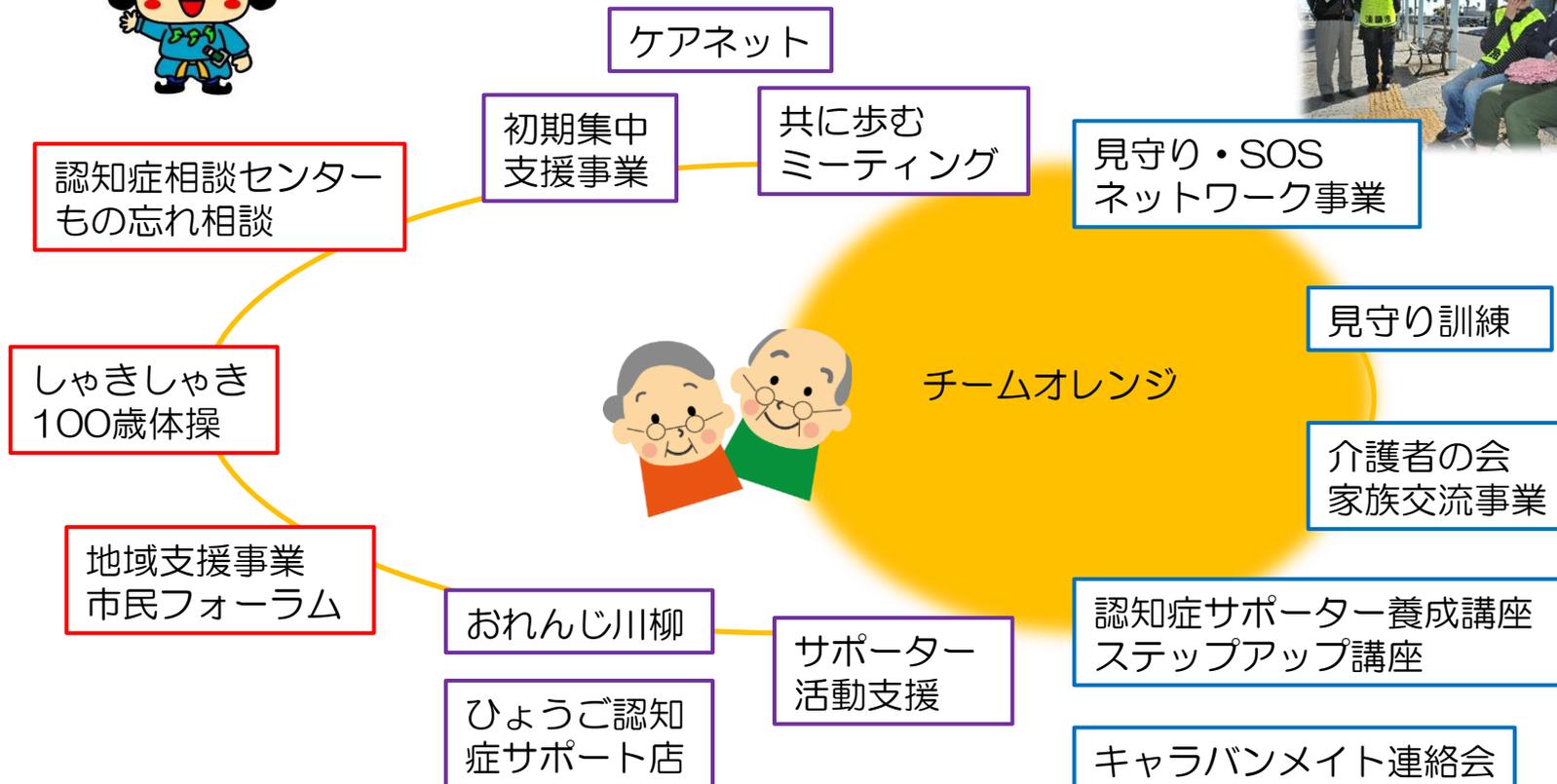
◎相談支援・支援体制構築

- ・認知症の方や家族等への相談支援
- ・「認知症初期集中支援チーム」との連携による、必要なサービスが認知症の人や家族に提供されるための調整



報告者氏名：松尾靖子 井上詩織

【淡路市】認知症施策全体図



【市町名】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号< ③ > 認知症サポーターへの具体的活動支援

☆チームオレンジへの支援

- ・ 新型コロナ感染症対策についての情報提供
- ・ 認知症カフェ開催に関する相談、参加者への連絡支援

外出自粛をすると
心配な人がいる

どうしたらカフェを
安全に開催できるか



Aさん夫婦はカフェ
だけが頼りだと思ふ。
何とか開催する方
法はないかな

これから介護が始ま
る人のためにできる
ことはないか

- 流行状況を見ながら、主要メンバー（認知症サポーター）と月2回程度の相談を継続。電話やLINE、面談等で活動方法や要支援者へのコンタクト調整、今後の活動への思い等を話し合う機会を持った。

<効果および課題>

- 電話による声かけ、手作りマスク配布の訪問、野外での少人数カフェ開催に至った。
- 認知症サポーターが自分たちの活動を振り返る機会を持ち、今後はまだ介護生活に至っていない若い年代の人と学ぶ機会づくりをしたい等の前向きな意見が聞かれた。

☆認知症サポーターに対するステップアップ講座開催

- ・昨年度、認知症サポーター養成講座を受講したグループに働きかけ、ステップアップ講座を開催し、チームオレンジ活動についても説明。
- ・日頃の見守りから活動に踏み出すため、見守り・声かけ訓練（見守り・SOSネットワーク事業）を開催した。



<効果および課題>

既にグループ化している対象に働きかけることで、活発に意見交換が行え、サポーター活動への意欲が高まった。

個々の見守りへの意欲は高まるが、チーム活動に至るにはさらに機会や仕掛けが必要と思われる。



☆認知症サポーター広報誌「おれんじだより」の発行 年2回

- ・認知症サポーター同士の連絡調整
- ・掲載内容と校正支援
- ・認知症サポーターによる取材活動についての相談と取材先の調整支援

取材の中で地域で見守られている認知症の人との出会いが実現できるよう、他機関とも調整を行った。

<効果および課題>

サポーターがしたい活動を行うことで意欲が向上している。

取材等の活動をすることから、移動（運転）可能なサポーターが求められており、活動者が少ない。またサポーターは就労等で多忙であり、定期的な活動の継続が困難。



最後に・・・（今後の取組みに対する認知症地域支援推進員としての思い）

個々のサポーターの思いがありますが、チームにまでまとまるには、サポーター自身の高齢化や人付き合い、責任感の差等があり、ハードルが高いと感じます。1つ1つの心温まるサポーターの支援が、地域の力につながることを願いながら、支援をつないでいきたいと思えます。